

Bibliophiles

ビブリアファイルズ No.5(2021年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館

(ここで紹介するのは新しい本の一部です。)



『語られなかったアメリカ史

1~3』 オリバー・ストーンほか

兵士としてベトナム戦争を経験し、映画『プラトーン』などでアメリカ兵の愚行を暴き立てたストーン監督。活躍の場が映画から本に移っても、ストーン氏は祖国アメリカに対して強い批判の矛先を向けています。「一体なぜ、アメリカ一國だけで世界の全ての国の合計額に匹敵するほどの軍事費が使われているのか?」「アメリカにはなぜ貧富の格差や人種差別が根強いのか」「なぜ日本の敗戦が決定的だったのにアメリカは日本に原爆を落としたのか?」・・・答えあわせは、ぜひ図書館にて。

『価値ある大学

2022年版 就職力ランキング』

日本経済新聞社の子会社が、多くの企業や企業の人事担当者に調査協力を得て「企業から見て価値のある教育をしている大学」を特集した本です。つまり、大学の「就職面の強さ」のランク付けが掲載されていることとなりますが、「偏差値=就職力」とは必ずしもなっていないのが興味深いです。ちなみに「山崎製パン」に今年最も採用された大学は・・・

『ザリガニの鳴くところ』

ディーリア・オーウェンズ

全米で 2019 年のベストセラーのトップに 25 週間ランキングという記録を達成、500 万部以上売れた超人気作です。日本でも今年、「本屋大賞翻訳小説部門」でみごとに 1 位となりました。

作者のオーウェンズ氏は本職は動物学者で、野生生物保護のための財団を創設したりしていた 70 歳の女性。この本がはじめての小説という、異色の経歴の持ち主です。作品は純文学とミステリーを融合させたような作風で、誰もがあっと驚く結末まで読ませます。

『今こそ真面目に考える

マリファナ 世界の大麻最新事情』

ほぼ全ての国で違法とされながら、大麻として嗜好する者が世界中で 2 億人近いと考えられている大麻。「あれは一部の悪人にだけ関係のある闇の植物」と思っている人がいるかもですが、ちょっと待って下さい。大麻は医療薬などに有効利用も期待されているのですよ。この本は、5 千年以上の大麻喫煙の文化や 20 世紀に各国で禁止となった経緯、そして有益な大麻の合法化への課題などを探ります。

『英語の読み方

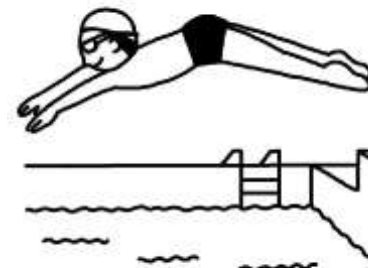
ニュース、SNS から小説まで』北村一真

図書館にも置いてある英字新聞の見出しの一節です。「Later retirement age eyed」何のことか分りますか? Later retirement age は「より遅いリタイアの年齢」のことなので「定年延長」だろうなのは、伝わりましたか。では eyed は? 実は eye は「見出し文に使われる用法」として「検討する」という意味があるんですね。この本は、ニュースやネットの文章など、書き言葉特有の「クセ」にこだわっています。ご一読を。

『源平の怨霊 小余綾俊輔の最終講義』

高田崇史

「歴史ミステリー」というジャンルを知っていますか? 普通のミステリーと違って、歴史上の「謎」を独自の視点から解き明かす謎解き小説です。この作品は、「平清盛はなぜ平治の乱の後に源頼朝を殺さなかったのだろうか? あの時に生きながらえたので頼朝は平家を滅ぼしてしまったのに」という謎を主に解いていきます。生徒の選定本です。



今号のひとこと

Limits, like fears, are often just an illusion.
自分の限界なんてものは、恐怖と同じで、
多くの場合、単なる幻想に過ぎない。

マイケル・ジョーダン(1963-)

対戦した選手から「あれはマイケル・ジョーダンの姿をした神だ」とコメントされたこともある、正真正銘のバスケットボール界のレジェンド。上の言葉は、そのジョーダンがバスケットボール殿堂入りを果たした時の記念スピーチで語りました。スピーチを締めくくる最後の言葉でしたので、ジョーダンが晴れの舞台でどうしても言いたかった「決めゼリフ」なんでしょうね。

スポーツでも勉強でも、自分の限界を突破しようという姿は美しいです。この夏の日本にも期待しましょう!

7/19 (月) ビブリアバトル大会開催

午後 2 時、図書館にて。見学は自由です。

夏休み中の開館日時

7/26 (月) ~ 8/3 (火)、8/19 (木) ~ 27 (金)
9 時から 13 時まで。(土日は除きます)

読書感想文コンクールのお知らせ

希望者はコンクールに参加できます。締め切りは 9/1 (水)、詳細は図書館まで。